

| 項目 | 確認事項 | 届出内容 |
|-----------------------|---|---|
| 基本情報 | 大学等名1(代表大学等) | 国土館大学 |
| | 大学等名1(代表大学等)※カナ | コクシカンダイガク |
| | 大学等名2(連携大学等) | |
| | 科目名 | インターンシップ |
| | 学部・研究科等名 | 理工学部 |
| | 担当教職員名・役職 | 大屋 隆生教授 |
| | 受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数 | 45 |
| | 受入企業等数 | 39 |
| | 受入企業等名 | (株)ジェイブロード、(株)KDS、(株)アピスト、(株)アルプスツール、(株)エービーシー商会、(株)関電工、(株)フジタ、(株)リッチェル、(株)映像センター、(株)外為印刷、(株)住軽日軽エンジニアリング、(株)八神製作所、(株)本間組、(株)鈴乃屋、オグラ金属(株)、(株)ヴィーディー・エフ・サンロイヤル、(株)中電工、ジェイ・アール・シー特機(株)、ダイダン(株)、中部土木(株)、トップ工業(株)、八潮市、リゾートトラスト(株)、ロジ・ソリューション(株)、荏原商事(株)、河合薬業(株)、鎌ヶ谷市、高松建設(株)、三菱石油(株)、小倉クラッチ(株)、世田谷区、清水建設(株)、積水ハウス(株)、村井電気(株)、町田市、東日電設(株)、南海辰村建設(株)、日本道路(株)、文化シヤッター(株) |
| | インターンシップの分類 | 4.他県をまたぐ広域インターンシップ.6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ.7.中小企業でのインターンシップ |
| 上記以外のインターンシップの分類(記述欄) | | |
| 要素① | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。 | 1.はい |
| | 1-2.該当する就業体験 | 1.企業等における業務への従事.2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等) |
| | 1-2.以外での就業体験の内容(記述欄) | |
| | 1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 施工管理業務、3D-CADの実習、設計体験、生産管理システム運用業務、IOTデバイス作業実習、ゼネコン・設計事務所への営業同行、商談立ち会い、品質管理、生産設備・治具の組立試験、CAD、プログラミング、データ解析、統計処理、ものづくりと製品についての知識の習得及び実務補助、人事部採用業務の体験など |
| 要素② | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。 | 1.はい |
| | 2-2.該当するインターンシップの内容 | 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している.6.当該インターンシップは、選択科目として実施している.7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している.8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している |
| | 2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄) | |
| | 2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄) | 3年次 |
| | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄) | 2単位 |
| | 2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 3年生を対象に夏期休業期間中の2週間程度の就業体験および事前・事後教育を「インターンシップ」という科目名で専門科目として実施している。大学の講義だけではなく、社会における実習を通じて、大学で学んだ知識に加えて、倫理、礼儀、進取の気質など、大学の教育理念に基づいて修得することを目標に自己の職業適性、職業生活設計、職業選択について深く考える契機とする。 |
| 要素③ | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい |
| | 3-2-1.該当する事前学習の内容 | 1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている.2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている.3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている.4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している |
| | 3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄) | |
| | 3-2-2.該当する事後学習の内容 | 1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている.2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている.3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている |
| | 3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄) | |
| | 3-2-3.該当するモニタリング | 3.その他 |
| | 3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄) | 学生と直接話を聞く場合と企業担当者からインターンシップ中の様子について伺っています。 |
| | 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄) | 全4回の事前講座を行っている。内容は、マナー講座、ビジュアルセミナー、ミニ講座、最終説明会である。全ての講座を活用してインターンシップに参加するうえでの心構えと、インターンシップ期間中の注意点、また実習中に受入団体の方々に迷惑をかけることのないように、最低限のマナーなどを学んでいる。その他、事前学習の一環として、インターンシップ参加前に受入団体にアポイントを入れ、事前訪問を各学生に課している。 |

| | | |
|--------|--|---|
| | 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄) | 成果発表会を実施している。自身の体験について振り返るとともに、発表を行うことで他の学生の就業体験についても共有することができ、他の学生からの振り返りも学びの機会としている。また、受入団体のご担当者様もお招きしているため、自身が参加した受入団体以外の方ともコミュニケーションをとるよう設定し、社会人との交流の機会としている。 |
| | 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄) | インターンシップ受入団体へは、実習前の受入についてのお願いと実習中の2度訪問をしている。学生との面談の機会だけではなく、企業担当者の方々からも実習中の様子や具体的な実習の内容について伺っている。 |
| 要素④ | 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。 | 1.はい |
| | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み | 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している |
| | 4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄) | |
| | 4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | シラバスに記載されている評価に従い評価を行っている。 |
| 要素⑤ | 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。 | 1.はい |
| | 5-2.該当する実施期間 | 1.連続した5日間以上の実施期間を確保している2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している |
| | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄) | 5日～15日程度 |
| | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) | 企業での就業体験を3日間および事前・事後の5回を合わせてカウントしている。 |
| | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) | |
| | 5-2.以外の実施期間の内容(記述欄) | |
| | 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 日数は受け入れ企業によって異なっており、学生が企業の選択を行っている。大学からは2週間程度の実習についてお願いしている。 |
| 要素⑥ | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい |
| | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 | 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している |
| | 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) | |
| | 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 事前講座では、企業担当者の方をお招きし受入側がどのような体制で受け入れていて、どのような気持ちで学生にインターンシップに臨んで欲しいのかについて講座をしている。また、事後講座では企業の方をお招きし成果発表会を実施し学生との交流の場としている。学生の評価についても企業の方からのフィードバックとして総合評価表というものを記入していただいている。 |
| | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL | 別途提出済み https://kaedei.kokushikan.ac.jp/Syllabus/SyllabusViewVer2.aspx?uid=229800 |
| 問い合わせ先 | 大学等名 | 国士館大学 |
| | 担当部署名 | キャリア形成支援センター |
| | 担当者役職名 | |
| | 担当者氏名 | 赤崎 真也 |
| | 電話番号 | 03-5481-3308 |
| | メールアドレス | career@kokushikan.ac.jp |